

城下町を愛でる…



松本城下町 景観名物狩り

1 3

彼が愛した景観をめぐる大人のツアー

初代城主、石川数正が愛でた景観がここ松本に現存することをご存じだろうか。
松本城下町のいくつかの通りの突き当りには、さながら「借景」(*)
のように山が置かれている。

いずれも、松本を代表する秀麗な頂である。

この景観に対峙すると、城下町に込められた美意識が400年の時を超えて馥郁と蘇ってくる。

城下から城内、三の丸、二の丸と歩を進めるうちに、これが周到な演出であることを身をもって理解されることだろう。

その瞬間、あなたの心は城主の矜持とシンクロする。

*借景(しゃっけい)

庭園外にある山などの景物を、庭園の構成要素として取り入れること
(大辞林 第三版)

2 4

初代松本城主 石川数正は茶人だった。

天正11年(1583) 徳川家康の名代として大名物の茶入「初花」を 羽柴秀吉に献上

天正13年 正月 有馬温泉にて秀吉、千利休らと茶席

11月 謎の出奔

天正18年 松本城主となる

その後、子の康長と天守、城下町を建設

ツアー企画

溝上 哲朗 伏見 宏美 関 誠

熊谷 大二郎 一ノ瀬 彩

企画協力 松本城下町 .com

旅行社みずのさんぽ&井戸端プリント2016

ツアーの楽しみ方

城下町の景観を茶器になぞらえてみました。

裏面の地図に示した1~5の景観を巡り、

星を集めてあなたも数寄者になろう!(6コ以上でオリジナルグッズ進呈)

★8コ 数寄者(すきしゃ:風流人、特に茶の湯を趣味とするもの)

★7~6コ 達人

★5~4コ 見習い

★3~1コ 頑張りましょう

★0コ 晴れた日にお待ちしています

デジカメに目当ての山頂が写っていれば★をゲット